

# エコライフ・カフェ

実施報告書 2016

inくまもと

7月1日



事業名	エコライフ・カフェin熊本			
開催日時	2016年7月1日(金) 13時～16時			
会場	Qサポ事務局(熊本市中央区桜町)			
目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>九州環境サポートセンターと熊本県の環境NPO等、また参加者同士のネットワーク構築および熊本地震を経て震災支援活動をしてきた実情の報告と情報交換の場を持つ。</li> <li>熊本県の環境NPO等の活動情報、ニーズ収集。</li> <li>「九州環境市民フォーラム」「環境市民活動助成金セミナー」への集客。</li> </ol>			
対象	熊本県または近隣県の環境NPO・企業・行政・個人			
参加費	一般、会員 500円			
参加者実数	19名	190%	目標人数	10名
入会者	2名	正会員：松浦弘様(高校教諭)納入済、副島智幸(ミライズプラン)		
スタッフ	事務局スタッフ 田口(受付および会場全般)、本多(撮影、音声記録、受付補助) 三澤(司会、受付補助、音声記録、報告書作成)			
内容(流れ)	<p>開会あいさつ 話題提供(各15分前後) および質疑応答 名刺交換とカフェタイム</p> <p>自己紹介(数分) アンケート記入</p> <p>事後交流(~16:30まで 事務局スペースを提供)</p>	<p>三澤 ①みずのとらベル隊 田中清也氏、②エール 高井真弓氏、③ピュアリィ 反後人美氏 Qサポ会員の「ピュアリィさん」の菓子と「フェアトレード推進委員会」(当日は欠席)の珈琲を用意した。 参加者全員の、震災後の活動を含む自己紹介アンケートの記入をして貰いながら、7/9鳥栖における通常総会の案内及び特別講演会のお知らせアンケート、入会申込手続きの案内。 交流を希望される方のために閉会後も場所の提供</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本地震被災支援の、それぞれの現場に対応してきた方々同士ならではの質問が飛びかっていた。震災後2ヶ月半の時間は経過したが、現状はやっと各活動の課題の把握できた処、あるいは、支援に当たる側の疲労や住宅や心のケアも浮き彫りになっているという印象が強かった。支援側のケアと、協力の必要性を確認できた。</li> <li>後半の自己紹介タイムには、会員の徳永さんにファシリテートを手伝っていただき、参加者個々の活動と今日感じたことを短く発表する機会を設けた。厳しかった現実や喜びを吐き出せる時間となり、参加者の満足度も高くなった。</li> <li>活動の手法について互いに学びとなること、助け合えること、広報、クラウドファンディングなど、名刺交換の時間も、話が尽きず、終了後も30分の時間を設けて交流する場として活用いただけた。</li> </ul>			
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>形式ばった形にこだわらず、また8月にもQサポにて、今回参加のできなかった方々が集まれる会があればと参加者からの要望もあり、検討している。昼に参加困難な人のために、夜の時間設定で計画もしていきたい。</li> <li>エコカフェ実施経験2回目の田口さん、はじめて経験する本多さんと、受付対応・カフェ準備・記録(撮影)、その他の作業に積極的に対応して貰った。作業分担、対応の効率など、改善できる事を出し合い、今後の事業運営に役立てて行きたい。</li> </ul>			

